

## 豊島区ひきこもり支援窓口 相談状況

この統計データは7月1日～11月8日の期間の結果であり、下記の表にある「11月」の数値は11月1日～11月8日までの数値である。

○ 新規数 50件

○ 相談方法

月	電話	メール	対面	合計
7月	3	0	0	3
8月	9	8	0	17
9月	5	2	0	7
10月	14	0	6	20
11月	1	2	0	3
合計	32	12	6	50

⇒ 10月に広報としま特別号を全戸配布いたしました。

○ 相談者

	本人	家族等	合計
件数	15	35	50
割合	30.0%	70.0%	100.0%

⇒ 生活困窮者自立支援制度窓口における相談者は、本人からの相談が多かったが、ひきこもり相談窓口においては、家族からの相談が多くなっている。

○ 相談の傾向

月	生きづらさ	健康	家族問題	就労ブランク	その他	合計
7月	2	0	0	0	1	3
8月	7	3	2	5	0	17
9月	2	2	2	0	1	7
10月	6	6	2	4	2	20
11月	1	0	1	1	0	3
合計	18	11	7	10	4	50
割合	36.0%	22.0%	14.0%	20.0%	8.0%	100.0%

⇒ 「生きづらさ」とは、特に医療機関で診断を受けていないことが前提。

「健康」は、医療機関にて診断を受けており、体調が優れないことが相談内容であること。

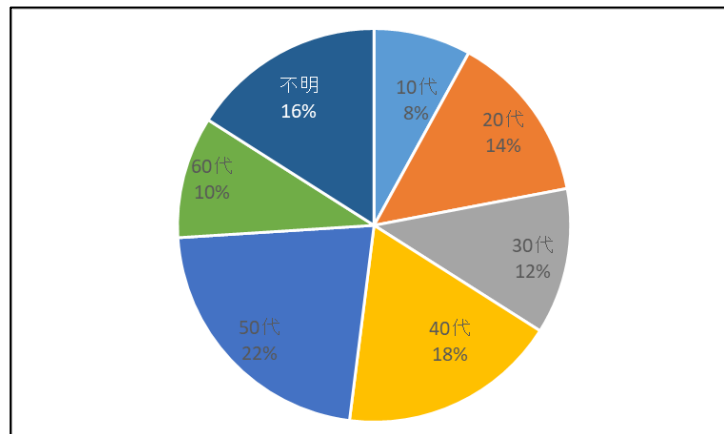
○ 男女比(当事者)

月	男性	女性
7月	3	0
8月	15	2
9月	3	4
10月	12	8
11月	2	1
合計	35	15
割合	70.0%	30.0%

⇒男女比は7:3で、生活困窮者自立支援制度窓口の割合とほぼ同じである。

○ 当事者の年代

年代	人数	割合
10代	4	8.0%
20代	7	14.0%
30代	6	12.0%
40代	9	18.0%
50代	11	22.0%
60代	5	10.0%
不明	8	16.0%
合計	50	100.0%



⇒ 40・50代で全体の4割を占め、中高年のひきこもりの相談が実際に多いという状況である。